

夢になるのだろうか。映画や舞台の粗筋も夢に現れる。「そうか。あそこはこう書けばいいの

か」「あの続きはこうなるのか」。夢が教えてくれる。うつらうつらしながら、そんなことばかり考えているからである。因果といえは因果である。起きると夢

た。わたしも、ここには書けなようなエロチックな夢もいっぱい見る。老いさらばえてであ

明の「羅生門」が優れているのはそれである。登場人物の一人は自分が自分のいいように過去を語る。ラストシーン、主人公の志村喬は「わからない」とい

夢と現実には揺れて

の大半は忘れている。

である。やはり、黒澤明は「夢」の意味の言葉をつぶやき、捨て

た。意味の言葉をつぶやき、捨てられてる赤ん坊を抱きあげ

黒澤明監督に「夢」という映画があつた。「この人は、この

かもしれない。夢ではなくて現

る。現実には赤ん坊だけである。

ある。企画意図はこうしてもオ

程度は夢しか見ないのか」と幻滅した。外国人記者クラブでの

た。

原作は芥川龍之介の「藪の中」である。若い日に読んだ芥川龍

の叔母さんに特攻隊を見送った

会見では「もっとエロチックな

夢は見ないのか」と外国の女性

り入れることは反則だと考え

「知覧なでしこ隊」の女学生の一

記者が容赦のない質問をしている。

回想は自分を中心にして過

る」とあつたのを覚えている。

85歳で亡くなった。

どこかで願望していることが

現れる。

夢や知らない人物が登場する夢

である。若い日の父や母もほほ

笑んでいたりする。普段は思

出すこともない幼なじみや友人

や知人も現れる。とつづくに亡

なつた叔母や叔父、遠い親戚も

現れる。

夢は朝方に見るものかもしれない。午前2時から3時にいったんは起きる。それからうつらうつらとする。その時間帯に夢を見る。訪れたこともない土地の